

若いけど！

Vol. 18 / 2018年04月16日発行

# おばちゃん通信



平成30年度横須賀市一般会計の予算規模は1554億4千万円で、25年ぶりに予算規模が1500億円を超え、過去2番目の規模です。歳出増の理由として、廃棄物広域処理施設、運動公園の新設・改修などの大規模工事、学校給食費の公会計化などが挙げられます。それでは、平成30年度予算のうち、教育福祉常任委員会中心にその一部を紹介します。



**【福祉部】介護ロボット導入支援事業 204万7千円。**介護職員の負担軽減のための介護ロボット導入を促すため、介護施設職員を対象としたロボット展示場の見学支援、介護ロボットの貸し出し支援を行います。ロボットを購入する費用の補助金は、県の補助金等があるため、市では検討していないとのこと。どのようなロボットが介護現場の負担を軽減するのか、今後も注視したいと思います。

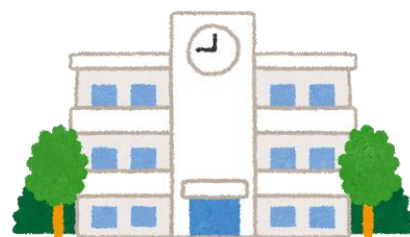
**エンディングプラン・サポート事業 17万3千円。**身寄りがなく生活にゆとりのない一人暮らし高齢者等の葬儀や納骨などの課題を、本人の意思を尊重し、解決に向けた支援を行ってきましたが、今年度拡充し、一人暮らし高齢者等の希望により、連絡先やお墓の所在地などの登録に応じ、万が一に備えます。

**生活困窮世帯学習支援事業 810万円。**これまで市内2か所で生活困窮世帯の学習支援を行ってきましたが、拡充され、4か所となります。

**コンビニエンスストア公金収納の体制整備 4091万1千円。**市県民税、固定資産税・都市計画税、国民健康保険料がコンビニ収納できるようになります。今年度、税システム、来年度に国民健康保険システムの改修をし、2020年4月よりコンビニ収納が開始される予定です。

**【こども育成部】病児・病後児保育事業 1786万円。**現在の病児・病後児保育センターの運営に加え、先進地視察などによる訪問型事業の調査・研究のための予算が計上されました。より利用しやすい形になってほしいと思います。

**放課後子ども環境整備事業 2341万1千円。**学童クラブ空白地域の小学校に、公設学童を整備します。そのための教室改修には約2200万円かかります。しかし今回公設学童設置予定の小学校は、児童数が少なく、いずれ統廃合の対象になりうる学校であり、多額の予算をかけて、学童のための部屋を整備することには疑問が残ります。ニーズ調査をしっかりとったうえで、整備にあたっては、将来的な施設運営の観点に立って費用のかけ方を考えてほしいと思います。



**(仮称)中央こども園整備事業 901万5千円。**上町保育園と鶴ヶ丘保育園を統合し、ポートマーケットの駐車場の一部に(仮称)中央こども園を整備します。今年地質調査、測量を行い、2022年度開園予定となっています。

【健康部】（病院事業会計）市民病院に回復期リハビリテーション病棟の開設 1億1082万7千円。現在休棟している東3階病棟を活用し、34床開設します。

【教育委員会】学校選択制事業 8万4千円。中学校選択制は2021年度から中止されます。今年度からその周知をします。選択制中止後、「部活動」が指定変更就学承認基準に追加され、指定校に希望する部活動がない場合、学区が接している隣接校への変更は認められます。

【代表質問】今回初めて無所属みらいを代表し、市長へ代表質問を行いました。多岐に渡る質問の中から一部を紹介します。



問：市長は年収約360万円未満世帯の保育料を無償化する案を出されたが、本市は平成29年度待機児童と保留児童合わせて129人となる見込みだ。無償化の前に待機児童の解消をすべき。待機児童・保留児童はいつ解消されるのか。

答：無償化を進めつつ、既存の保育所の定員拡充、認定こども園への移行等を進め、待機児童の解消に取り組んでいきたい。待機児童の解消の見通しについては、国は子育て安心プランの中で遅くとも平成33年当初までの3年間で、全国の待機児童を解消するとしており、本市も国の計画に沿った目標を立てている。

問：認定こども園化がプラン通りに進んでいないが、改修費用の助成などもすべきでは。

答：進まなかった原因など問題点を収集して、それも含め検討していきたい。

問：今後市役所内で障害者雇用をどのように拡大するのか。

答：知的障害者、精神障害者の採用は、課題となっている業務の切り出しや抽出のほか、気持ちよく働いてもらうための受入態勢の検討を早期に行い、市のさまざまな業務を集約化する、いわゆるワークステーション型での具体的な採用の実現に向けて取り組んでいきたい。

問：今回の財政基本計画終了後の財源不足も懸念されているが、どのような将来見通しを持って予算を策定したのか。

答：市民の皆様にご負担いただくこととして、施設の適正化やごみの有料化なども考えられる。税収入も増えると確信していて、今懸念するより楽観的で良いのでは、と思っている。ただ、今の段階では計画終了後、毎年6億円ずつ削減する必要がある、という状況である。



【高校生対象議会報告会】3月29日、横須賀総合、横須賀明光、三浦学苑、緑が丘女子高校から計24名が参加し、議会報告会を行いました。サポート役として関東学院大学の学生も参加してくれ、グループディスカッションでは議員と高校生が「横須賀を魅力的なまちにするには」をテーマに話し合い、活発な意見が交わされました。高校生向けのこうした報告会は、今後も議会として続けていきたいと思えます。

#### おばたさおりプロフィール

1985年10月3日生まれ。平作小、池上中、横浜市立金沢高校卒業。UCLA政治学部卒業。学習塾、フリースペース勤務を経験。2015年横須賀市議会議員選挙にて5625票を得て、当選。会派：無所属みらい  
移動事務所：080-1161-4031またはinfo@obatasori.com ブログも更新中です！